

茨高
茨中

春 秋

発行
茨高・茨中 P T A
代表 谷中恒夫
編集
茨高・茨中文化広報委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)



ごあいさつ

PTA会長 谷中恒夫

皆さまこんにちは。PTA会員の皆様には平素より茨城中学・高等学校PTA活動にご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。この度、令和元年度茨城中学・高等学校PTA会長を務めさせていただきます谷中恒夫と申します。茨城高等学校を卒業して二十八年、力不足な私に大役が務まるか不安もありますが、PTA役員の皆様と協力して、茨城中学・高等学校がますますより良い学校として、子どもたちから、社会から愛される学校になるため、尽力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

現在、子どもたちを取り巻く環境は、大きく変化しようとしています。身近なところでは、大学入試制度が大幅に変わるところから始まり、世の中のIT化はAIやIoTの急激な発達により加速的に進み、また、少子高齢化は世界的にも類を見ないほどの速さで進んでいるといふように、子どもたちが生まれ

たところには想像もつかなかったことが次々とすすんでいて、そんな世の中になっていきます。こうした社会の変革の中、人の心から置き忘れられていくものが、人と人との利害を超えたつながり、そして感謝する心ではないかと日々感じております。このような社会を今後、生き抜いていかなければならない子どもたちに最も必要なものが、本学の教育目標「社会報恩に厚い真のリーダーの育成」なのかなと思っております。

PTAは、常にお子さま方の教育環境の向上と、会員相互の研修及び親睦を目的としており

以来九十余年、どんなに社会が変革しようとも、昭和、平成、令和と時代が変わろうと、社会で活躍している多くの人材を輩出し続けているのは、教育目標の根底にある建学の精神「報恩感謝」を一貫して守り続けていることにあり、多くの卒業生たちが、この言葉をかみしめ、心の支えにして、衆生の恩を形にすべく、社会で頑張っている姿勢を貫いているからだと思います。これらをこれからも継続していくためには、現在本校に通う子どもたちには、「報恩感謝」の心を伝えていくことが、教職員と保護者の務めでありPTAとしても必要なことと感じております。

「がんばらばつたら報われる」と思えるのは、これまであなたたちの周囲の環境が、あなたたちを励まし、背を押し、手を持って引き上げ、やり遂げたことを評価しほめてくれたからです。世の中には、がんばっても報われない人、がんばろうにもがなばれない人がいます。がんばる前から「しよせんおまえなんか」

生徒たちのがんばる姿には心打たれます。思わず大きな声で応援したくなります。茨中生・茨高生はがんばる姿をたくさん見せてくれます。体育祭では多くのうれし涙とくやし涙がありました。文化祭では茨高らしい多様なパワーと熱気を感じることもできました。成長とは自分の限界を超えていくことだとすれば、がんばる体験は成長のための必須の要素であると思います。「がんばる」ということについて、上野千鶴子氏がたいへん興味深いことを述べています。東京大学学部入学式における上野千鶴子氏の祝辞の一部を引用します。

「これまであなたたちは、正解のある知を求めてきました。これからあなたたちを待っているのは、正解のない問いに満ちた世界です。未知を求めて、よその世界に飛び出してください。東大ブランドがまったく通用しない世界でも、どんな環境でも、どんな世界でも、生きていける知を身につけてください。」

「国際教養コース」を設置しました「医学コース」では一〇一名の生徒が新たな学びに挑戦しています。挑戦し、自分の新たな可能性を求めてがんばろうという姿勢は学校に活力をもたらしています。二〇二〇年には、「国際教養コース」を設置します。このコース設立のためにUCデービス校の藤田斉之先生とアドバイザー契約を結びました。その先生のお話の中に「海外に留学すれば、グローバル人材となるかと言えば全くそんなことはない。大切なことは自己啓発力を身につけること。その能力があれば、世界のどこであつても学び成長し続けることができる。」とありました。強い感銘を受けました。本物のグローバル人材育成のための道筋を示していただきました。

人間として、学び変わり続けることができる、報恩感謝を体現することができる人材の育成です。



「がんばれ！」

校長 鬼形 正人

本物の知、本物の人間力が要求される世界がもう目の前まで来ています。

今年度(二〇一九年)設置された「医学コース」では一〇一名の生徒が新たな学びに挑戦しています。挑戦し、自分の新たな可能性を求めてがんばろうという姿勢は学校に活力をもたらしています。二〇二〇年には、「国際教養コース」を設置します。このコース設立のためにUCデービス校の藤田斉之先生とアドバイザー契約を結びました。その先生のお話の中に「海外に留学すれば、グローバル人材となるかと言えば全くそんなことはない。大切なことは自己啓発力を身につけること。その能力があれば、世界のどこであつても学び成長し続けることができる。」とありました。強い感銘を受けました。本物のグローバル人材育成のための道筋を示していただきました。



入学によせて



高校一学年主任
榎山 俊彦

高校の三年間は、子どもたちの将来の方向性を決める重要な時期です。なりたい自分を見つけて、将来の夢を膨らまし、夢を実現するための本物の学力を身につけてはなりません。教科学習はもちろんのこと、部活動や文化祭等の行事にも主体的に取り組むこと。同世代のみならず先輩や後輩との絆をつくり、協働する力を身につけると。この高校三年間で、自分自身の成長のために、子どもたちが経験しなくてはならないことが山ほどあります。生徒たちには臆することなく、様々なことに挑戦して欲しいと考えます。本校には、たくさんの優秀な仲間とそれをサポートする熱意ある教員がいます。仲間と切磋琢磨し、自身の能力を大きく伸ばせる環境があります。生徒たちには、日々の学校生活を通して、確かな学力とともに、豊かな人間関係を築き、職業観を養い、心身を鍛え、社会のリーダーとして活躍できる人物へと成長してほしいと願っています。有意義な三年となるよう頑張ってくださいませ。



中学一学年主任
鯨井 章二

四月五日の入学式から二十五期生一四九名との六年間の付き合いがスタートしました。そして、あつと言う間に四ヶ月が経ちました。その間にオリエンテーション合宿や初めての定期試験、部活動への入部、NASA元宇宙飛行士の講演会、四色対抗の体育祭など授業以外にも様々なことがありました。きつとこれからも濃密な日々が怒濤のように過ぎていくのでしょう。しかし、高校卒業までに各自で答えを見つけて欲しいことがあります。何のために生まれて、何をして生きているのか。何が君の幸せで、何をして喜ぶのか。一つ目は、六年間で答えを見つけてるのはなかなか難しいと思いますが、是非、時折考えて欲しいです。二つ目は、大学という次のステージに移るに当たって必須なものです。我々も全力でサポートするので、一緒に答えを探していきましょう。最後に、二十五期生との付き合いが六年間と言わず、十年二十年となれば、これほど嬉しいことはありません。そうなるように学年団一同、精一杯頑張ります。今後とも宜しくお願ひ致します。



新任 教職員の紹介

Part 1



- ①子供の頃の夢
- ②好きな本
- ③生徒へのメッセージ



吉瀬 敦彦 (数学)

私は子どもの頃から定まっていた夢はありませんでしたが、今、教師になり教育というものの難しさを痛感しています。先日、「嫌われる勇気」を読み、物事には様々な見方、考え方があることを感じました。何事にも柔軟な教師を目指して先進していきたいと考えています。

野口 綾音 (英語)

今年度より茨城高校・中学校に着任しました。福島県出身で、四月から水戸に越してきました。ネイティブのいわず加え、ぜひ水戸弁も覚えて行きたいです。何にでも挑戦できるチャンスの多い学生時代。成否に拘らず、様々なことにチャレンジしてみてください。

田中 優志 (化学)

今年度着任の田中優志(中一学年付)です。十玉と一円玉で電池が作れることをご存知ですか？チューインガムがロケットの燃料に使えることは？不思議と夢でいっぱいな化学の入り口まで、楽しく案内できるように尽力します。二十六才、趣味はダイビングです。

高島 修一 (技術)

①宮大工さん。小学生の時、「陽明門」の彫刻を生で見た感動は忘れられません。
②「奇跡の紅茶専門店」新しい一歩を踏み出す勇気をくれる本です。
③人生挑戦の連続です。自分を信じ仲間を信じ進んでいこう。
あなたならできる！

大島奈々美 (養護)

①中学生まで保育士の仕事に興味がありました。
②「ピーターラビット」の絵本セット」本のサイズがミニサイズで挿絵をみているだけでも癒されます。
③みなさんがこころも体も健康に過ごせるよう精一杯サポートしていきます。

菊池 悠希 (養護)

①小学校時代の養護教諭が大好きで、ずっと養護教諭になりたいと思っていました。
②木藤亜也さんの「1リットルの涙」です。小説・映画・ドラマと全て好きな作品です。
③勉強に運動に励む皆さんの姿に日々活力をもらっています。これからよろしくお願ひします。

沼生 詩織 (国語)

①明確な夢を持たずに漫然と過ごしていました②ここ数年だと小川一水「天冥の標」、深水黎一郎「虚像のアラベスク」、城平京「虚構推理」、鳥飼杏宇「死と砂時計」など③接する皆さんに「大人」もまあ面白そうだなあと欲してももらえる大人でいたいと思います。

金子 泰子 (英語)

子供の頃の夢は、アナウンサー・通訳・CAなど言語や海外と関わりのある仕事に就くことでした。好きな本は、太宰治・夏目漱石などの文学作品や料理のレシピ集です。十年後の理想の自分に向かって日々努力を重ね、一度きりの中学・高校生活をエンジョイしてください。

滑川 利美 (保健体育)

①もちろんオリンピックを目標にしました。その夢叶わず、現在は指導者としてオリンピック選手を育てるよう頑張っています。②迷ったときは論議の本をよく読みます。③なんでも良いので一つのことをやり通す力を身につけてほしいと思います。そして、人との出会いを大切に！人間力を高めて下さい。



文化祭執行部



茨祭

総合ランキング

クラス企画総合	オープニングセレモニー
1位 3-B	1位 3-G
2位 2-E	
3位 1-E	



3-A

今回の文化祭は、高校生活最後ということもありとても楽しみだった。いつもの学校生活では感じるこの出来ない充実感を味わうことが出来ただけでなくクラスメイトとの交流も深まり、とても楽しい文化祭となった。 富田 修造



3-B

私たちは忍者屋敷「奥義おくむら」をやりました。準備期間中もクラス全員で協力し合い、これぞ青春！という雰囲気、生徒部門では見事1位をとることができました。来て下さった方、ありがとうございます！にんにん！ 石川 真優



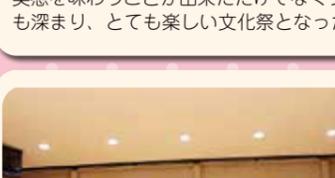
3-C

高校最後の文化祭が終わりました。わたしたち3-Cのお化け屋敷は初日、2日目共に大盛況で、行列が階段まで続きました。高校最後の文化祭にふさわしい終わり方でした。クラスみんなの思い出になったと思います。 太田 菜彩



3-D

夏の強い日差しの下、我々は高校生として最後の文化祭を終えた。今は祭りの後。センター試験までは残り約200日。我々は過去を振り返らず、チャイム着席現役合格をモットーに、夢の実現のために勉強に動いている。 三村亮太郎



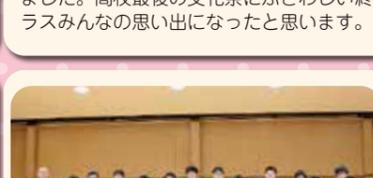
3-E

作業中に寝ちゃう子、授業中に設計図を書いちゃう子、負傷してまでグルーガンを使った子、そんな個性豊かなクラスのみんで全力で取り組んだ文化祭だったので優勝できて本当に嬉しく、とても大切な思い出になった。 佐久間紗佳



3-F

船で島に入り、宝を揃えて呪いを解くというストーリーでした。高い壁と外装には特に力を入れ、全員が協力して作り上げました。遠慮がちだったクラスの仲も深まり、普段のコミュニケーションにも繋がりました。 徐 輔暎



3-G

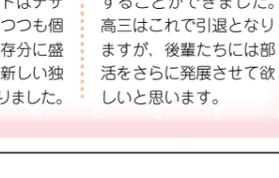
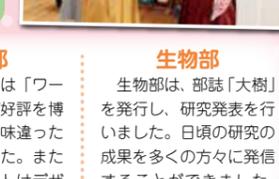
高校生活最後の文化祭は、それぞれの印象に残るかたちで幕を閉じました。普段と違い、全員で一つの企画に力を注いだ有意義な経験でした。横倉先生や野球部が体を張ったPRでは優勝し、笑いの多い文化祭でした。 村田ひなの



文化祭実行委員 遠藤 康先生
今年度の文化祭テーマ「令和最初の文化祭、全ての楽しみはここにある！」に掲げた通り、日常から解放され、仲間とともに創意工夫を重ねて1つの目標を成し遂げました。今後の活力も十分に備えた、素晴らしい機会になったと思います。



文化祭実行委員長 小野崎みく
天候にあまり恵まれませんでした。各団体、実行委員、先生方、来場して下さいました皆様のおかげで素晴らしい文化祭になりました。皆様の笑顔を見ることが出来て嬉しかったです。本当にありがとうございました。



フォーク部
初めてのライブをしました。本番への緊張が増していくなか、スタジオで練習しながら調整を繰り返して迎えた当日、会場は満員で、演奏も大好評でした。また3人でステージに立ちたいです。最高の文化祭でした。

放送部
文化祭校内放送を担当させて頂きました。OP・EDセレモニーにも携わらせて頂けてとても楽しかったです！ありがとうございました。

JRC部
JRC部では今年度も東日本大震災募金を行いました。部員が作った水風船を、募金して下さった方々に配布しました。ご協力して下さった皆様、ありがとうございました。

漫画研究部
学友のお力添えで漫画を出せました。(私が異常に進みが遅かったので...)アンの方々に助け！と煽られながら描き上げました。安心と高揚が同時に沸き起こりました。僕はこの感情を母性と呼んでいます。

化学部
今年は「入浴剤作り」や「銅板メッキ」を新たに作り取りました。沢山の子ども達や先輩方、地域の方々がお力を運んで下さりました。毎年来て下さる方もいて、茨高の伝統を感じました。来年にも繋げていきたいです。

ESS部
第58回 茨祭にて「FROZEN」をやらせていただきました。多くの皆さんが公演を見に来て下さり、緊張もありましたが、とても嬉しかったです。次の公演では文化祭の反省点を活かして良い演劇を作り上げたいです。

図書委員会
私達図書委員会は茨高生のスマホの実態調査と54字の物語を文芸誌に掲載しました。調査では約95%の人がスマホを所持しており、生活に影響していることが分かりました。またしおり作りもやりました。

コンピューター研究部
今年は特に多くの作品が揃いました。素数ホッケー、3Dプリンター、自走ロボ、クレーンゲーム、2人乗りライトレーサー、SEPG、動画、楽曲など部員お手製の力作が並び、皆様に楽しんで頂けました。

吹奏楽部
私達は、1日目にアンサンブル発表、2日目にコンサートピッチを行いました。たくさんの方々にお越しいただき、私達も文化祭ならではの貴重な経験ができました。これからも吹奏楽部の応援をよろしくお願い致します。

囲碁・将棋部
私達は、囲碁や将棋、オセロの対局コーナーや部員手作りの詰将棋の配布などを行いました。企画を行うのは初めてでしたが、準備が間に合うことができ、前年より多くの人に見て頂くことができました。

史学部
史学部は今年、鹿島鉄道をはじめとした関東の史跡調査報告を行いました。準備が間に合うことができ、前年より多くの人に見て頂くことができました。

美術部
今年の文化祭は「ワークショップ」が好評を博し、例年とは一味違ったものとなりました。また今回の入場ゲートはデザイン案を尊重しつつも個人のアイデアを存分に盛り込んだ非常に新しい発想的なものとなりました。

生物部
生物部は、部誌「大樹」を発行し、研究発表を行いました。日頃の研究成果を多くの方々に発信することができました。高3はこれで引退となりますが、後輩たちには部活をさらに発展させて欲しいと思います。



赤組団長 金子美月

こんにちは。赤組団長でした金子美月です。今年の体育祭は赤組としては、残念な結果になってしまいましたが、先輩方が繋いでくれた連覇が出来ず、後輩にも繋げませんでした。その中でも私が団長として気を使ったことは、皆の集中を途切らせないようにすることでした。そのために仲良くなったり、一方的に話しかけたりしました。そうしたら、みんな最後まで一緒に頑張ってくれました。来年、優勝を取り返してけると期待しています。応援ありがとうございます。



緑組団長 菊池優斗

昨年まで、緑組は三年連続で二位という結果でした。なので緑組は新しくダンスを取り入れました。そのため、振り付けが難しかったけどみんな頑張りました。そして、応援は一位をとる事ができ、「暁」をテーマにしたディスプレイも二位をとる事ができました。個人種目や団体種目も頑張りました。令和元年度の茨中体育祭は緑組みんなが一致団結した事によって総合優勝出来たのだと思います。この三年間緑組で本当に良かったです。



第51回 茨中体育祭
2019. 6.9

1位 **緑組** 2位 **黄組** 3位 **赤組** 4位 **青組**



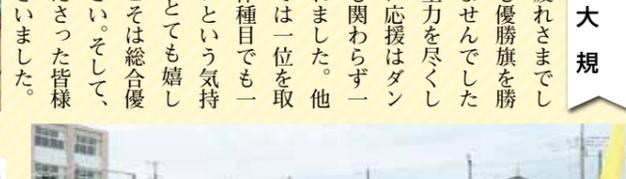
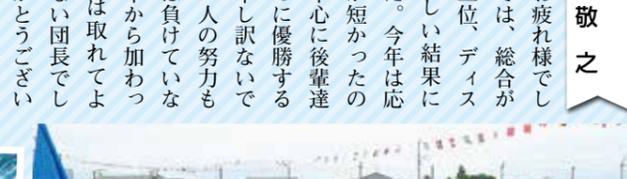
青組団長 大和田 敬之

青組のみなさんお疲れ様でした。今年の体育祭では、総合が四位で応援合戦が二位、ディスプレイが四位と悔しい結果になってしまいました。今年は応援合戦の練習期間が短かったのですが、チーフを中心に後輩達と完成度を高めたのに優勝することができなくて申し訳ないです。しかし、一人一人の努力も団結力も他の色には負けていないと思います。今年から加わったグッドマナー賞は取れて良かったです。頼りない団長でしたが最後までありがとうございました。



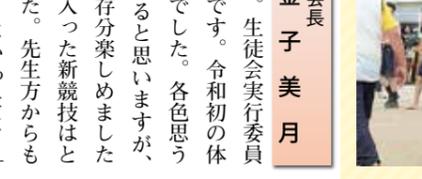
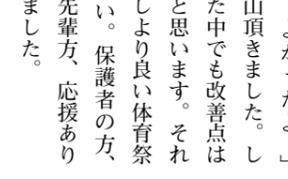
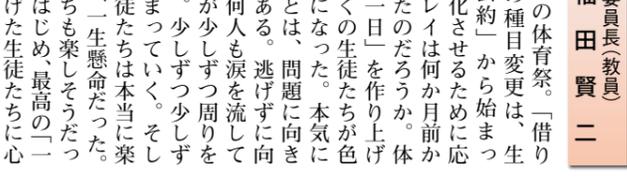
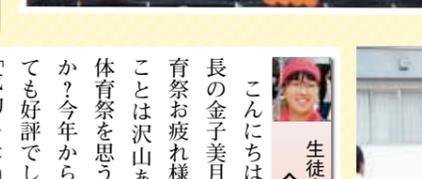
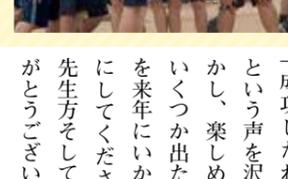
黄組団長 鈴木 大規

黄組の皆さんお疲れさまでした。今年は惜しくも優勝旗を勝ち取ることはできませんでしたが、黄組は全員が全力を尽くしたと思います。特に応援はダンスが難しかったにも関わらず一生懸命頑張ってくれました。他にもディスプレイでは一位を取り、個人種目や団体種目でも一人一人から勝ちたいという気持ちで伝わってきてとても嬉しかったです。来年こそは総合優勝勝ち取ってください。そして、寒い中応援してくださいました皆様応援ありがとうございます。



実行委員長(教員) 福田 賢二

令和初めての体育祭、「借り人競走」への種目変更は、生徒会長の「公約」から始まった。伝統を進化させるために応援やディスプレイは何か月前から構想を練ったのだから。体育祭という「一日」を作り上げるために、多くの生徒たちが色んなことをした。本気になった。本気になるといことは、問題に向き合うことでもある。逃げずに向き合うことで何人も涙を流していた。その姿が少しずつ周りを本気にさせる。少しずつ少しずつ一つにまとまっていく。そして、当日の生徒たちは本当に楽しそうだった。「生懸命だった。見ている人たちが楽しそうだった。生徒会長はじめ、最高の「一日」を作り上げた生徒たちから感謝したい。



新任教職員の紹介 Part2

生徒へのメッセージ 又 自己紹介



江寺真 (国語)

この春より赴任いたしました江寺です。其学校での勤務は久しぶりで、戸惑いも最初はありましたが、今は週三日来るのが楽しみになりました。どうぞよろしくお願いいたします。



会沢力 (数学)

中学・高校時代は将来への重要な準備期間です。視野を広くいろいろ考え、行動していきましょう。この時期にあなたにとって大切なものに出会うことができますればとても幸運なことです。



友常 征輝 (数学)

中学数学担当の友常征輝です。先生としては一年目なので、分からないことばかりですが、みなさんと協力して良い授業にしていきたいと思っております。一年間よろしく申し上げます。



上原晃人 (数学)

私の担当教科は数学です。数学で魅力を感じるのには、解けそうもない問題が、発想の転換などにより、解くことが可能になるというすばらしさだと思います。私はそこにひかれました。



平賀雅道 (英語)

四十余年前の茨高卒業生です。様々な学校で教職に就いてきました。この度母校に戻り、後輩の皆さんの夢の実現を全力で応援していく所存です。常に眼差しを高く志を大きくあれ!!



磯崎一久 (英語)

先日、いつも授業中眠って注意されていた生徒が、最前列の席に座り、今後は眠らないと言いました。他の生徒にも私にも楽しい刺激でした。お互いに刺激し合える授業をと思えます。



ラモス・ジェシカ (英語)

こんにちは！ジェシカです。子どもの時の夢は作家になることでした。好きな本は「The Things They Carried」です。十二月にフロリダ大学を卒業し、その間大学でリサーチペーパーライターをしていました。授業を楽しみにしています！



片口亜希子 (美術)

四月より高校美術を担当致します。大阪から水戸に来て十年になります。美術という教科を通じて、技術や知識だけでなく、位置感や考え方を構築して行くことを伝えて行きます。



本多 克成 (保健体育)

こんにちは！今年度から保健体育科の講師を務める本多克成です。私自身、茨高の卒業生なので、皆さんと過ごす学校生活をとて楽しんでいきます。どうぞよろしく申し上げます！



宇野 大輔 (事務)

博士号所持です。専門はドイツ哲学。突然ですがクイズです。ドイツ語Stilleは主に三つの意味がある。倫理、習慣、あと一つは何か。Hint: 君たちをステキな大人に変えてくれるものです。



勝村 絢香 (事務)

今年度から事務員として務めています。みなさんと直接お話しする機会はないかもしれませんが、せんが、すれ違ったときなどに気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです。よろしく申し上げます。

中学野球部顧問 谷部 淳一

茨城中学校野球部は、三年生五名、二年生十一名、一年生八名合計二十四名で活動しています。二〇一七年度から安達先生が顧問、二〇一九年度は女子部員一名が入部し、活動がさらに充実しています。初心者でも一年半かけて公式戦、経験者はさらにレベルアップするよきな練習を心がけています。今年度の三年生は人数こそ少ないですが、一人ひとりが上級生としての責任を果たし、とてもまとまったチームになり、六年ぶりの中央地区出場を果たしました。新チームでは三年生の抜けたセンターラインを二・三年生でカバーし、中央地区、そして長年果たせなかつた県大会出場を目標に練習していきます。と思っています。



高校男子バレー部 桑原 慶祐

私達は、高木先生のご指導のもと、二年生六名、一年生四名マネージャー三名の計十三名で活動しています。部訓は、文武不岐です。これは、部活だけでなく勉強にも取り組むという姿勢から考えられました。

活動日は、週六日で、月・木・金・土は、ボールを使った練習をし、火・水は二グループに分けて筋トレをしています。最近の大会では、水戸地区新人戦優勝、県新人戦ベスト八、県インターハイ予選ベスト十六となっています。先輩たちの記録に並び、追い越せるよう努力します。

部活動の報告

中学サッカー部顧問 福田 賢二

今年度から女子部員も一緒に活動できるようになったことで、中学サッカー部にも新たな風が吹いた。一人の女子部員の頑張り、しっかりと受け入れ共に汗を流す男子部員。改めてスポーツの持つすばらしさを教えてもらった気がする。今は尊敬する三年生が引退し、一、二年生は大きな目標に向かって頑張っている。「先輩に良い報告ができるように」と生徒たちは言う。後輩たちにそう言ってもらえるように、今年度のチームも一生懸命頑張りたい。



剣道部 庄司 大雅

剣道部は中高合わせて二十一名で活動しています。今年度は新任で経験と実績共に豊かな高嶋先生を迎え、浦井先生のご指導を受けながら、昨年にも増して各種大会に出場したり、練習試合や遠征を行ってきました。部訓である「非思量」「兀兀地春夏秋冬」を体し、創部以来の長い歴史の中で受け継がれてきた歴代顧問の先生方や先輩方の高い志を胸に、私たちは新たな剣道部の歴史を築いていきます。現在中高生ともに水戸地区大会第三位入賞、高校生は県大会ベスト十六の実績を取っています。今後ともご支援よろしく申し上げます。